

2回目の培土は適期に必ず実施！！

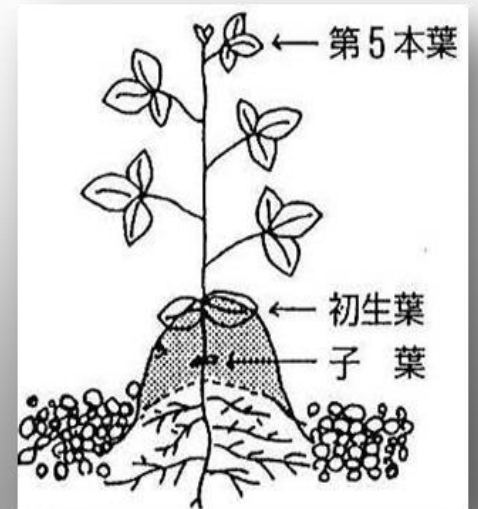
培土による生育量の確保と排水対策で収量・品質を高めましょう！

1. 2回目の培土と排水対策の徹底

～根元までしっかり土寄せをしましょう～

本葉4～5葉期（播種30～35日後頃）

- 晴れ間を見て速やかに2回目の培土を実施し、生育量の確保と雑草の発生を抑えましょう。
- 培土したところに新たな根が発生し、生育が促進され、倒伏防止にもつながります。
- 雑草抑制の効果があります。
- 培土作業でできた溝と額縁排水溝は、必ず連結しましょう。
- 排水溝を点検・補修し、ほ場の停滞水を速やかに排水しましょう。
- 麦跡等で1回目培土(2～3葉期)が遅れている場合は、早急に行いましょう。



2. 雑草防除

【難防除雑草の発生に注意】

大豆ほ場への侵入・蔓延を防ぐため、早めに発見し、種子を作る前に除草しましょう。
除草方法は各地区営農経済センターにご相談ください。

- 除草剤は、雑草の種類及び生育状況、大豆の生育状況から判断し、適期を逃さずに散布しましょう。
- 畦間・株間処理は、薬剤が大豆に直接かからないよう注意して「吊り下げノズル」等を使い散布してください。薬剤が大豆に付着すると葉が黄化する等の薬害が生じます。
(※抜き取った場合は、そのまま放置せず、ほ場外で適切に処理しましょう。)

イヌホオズキ↓



マルバルコウ↑

薬剤名	対象雑草	10a 当たり散布量	使用方法	使用時期	使用回数
ポルトフロアブル	1年生イネ科雑草 (スズメカビエラを除く)	薬量 200～300mℓ (水 100ℓ で希釈)	雑草茎葉 散布または 全面散布	イネ科雑草 3～10 葉期 ただし、収穫 30 日前まで	1 回
大豆バサグラン 液剤	1年生雑草 (イネ科を除く)	薬量 100～150mℓ (水 100ℓ で希釈)	雑草茎葉 散布	大豆 2 葉期～開花前まで(雑草 6 葉期 まで)ただし収穫 45 日前まで	1 回
		薬量 300～500mℓ (水 100ℓ で希釈)	※ 畦間処理	大豆の生育期(雑草 6 葉期まで) ただし収穫 45 日前まで	
ロックス	1年生雑草	薬量 100～200g (水 100ℓ で希釈)	※ 畦間・株間 処理	本葉 3 葉期以降 雑草生育期(草丈 15cm 以下)ただし、収穫 30 日前まで	1 回
バスタ液剤	1年生雑草	薬量 300～500mℓ (水 100ℓ で希釈)	※ 畦間処理	本葉 5 葉期以降 雑草生育期 ただし、収穫 28 日前まで	3 回

※詳しくは各地区営農経済センターにご確認ください。

とやま GAP（富山県適正農業規範）に基づき、安全に作業しましょう。

大豆情報第4号は、7月中旬の発行予定です。